

オイルクーラキット 取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。
取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。
本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

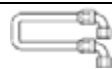
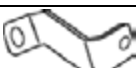
商 品 名	車種別オイルクーラキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド №	15004-AH002
取付説明書品番	E04261-H16011-00 Ver.3-3.02
整備要領書品番	60SAA00/60SAA20/60SAA23/60SAA24/60SAA25
メーカー車種	ホンダ フィット GD3
エンジン型式	L15A
年 式	2002年09月～2007年09月
備 考	【注意事項】 ・メンテナンスの際は、オイルフィルタはダイハツコペン用（φ68 t=51.5 ネジサイズ3/4-16UNF）（コード№：G15611-K00020-00）を使用してください。 【別途必要部品】 ・新品のエンジンオイル（4リットル）

改訂の記録

改訂№	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2007/03	初版
3-3.02	2008/02	パーツリスト変更

2008年02月20日発行（禁無断複写、転載）(株)エッチ・ケー・エス

パーツリスト

連番	コード№	品 名	数量	形 状	備 考
1	15006-AK006	オイルクーラコア	1		
2	2599-SA008	アダプタサーモAssy	1		
3	G15635-K00031-00	アタッチメントボルト	1		
4	15999-AK001	Oリング φ50	1		
5	G15750-K00790-00	オイルクーラホース№1	1		0° - 600mm - 90°
6	G15750-K00800-00	オイルクーラホース№2	1		90° - 700mm - 90°
7	G15721-H16010-00	ステー№1	1		
8	G15721-H16020-00	ステー№2	1		
9	G15721-H16030-00	ステー№3	1		
10	17461-002187	カラー	1		
11	15719-034259	スパイラルチューブ	1		
12	90131-007100	タイラップ(中)	4		
13	90131-003100	タイラップ(大)	2		
14	G15611-K00020-00	オイルフィルタ	1		ダイハツ コペン用
15		ボルトM8 L=20	3		
16		フランジ付きナットM8	3		
17		スプリングワッシャM8用	3		
18		プレーンワッシャM8用	3		
19		ボルトM6 L=15	1		
20		ボルトM6 L=55	1		
21		フランジ付きナットM6	2		
22		プレーンワッシャM6用 大径	3		

パーツリスト

連番	コード№	品 名	数量	形 状	備 考
23		スプリングワッシャM6用	2		
24	E04261-H16011-00	取付説明書	1		
25	93050-002100TP	取扱説明書	1		

1. ノーマルパーツ取外し

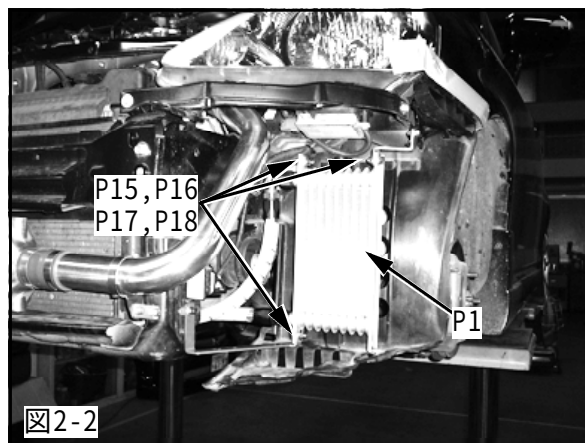
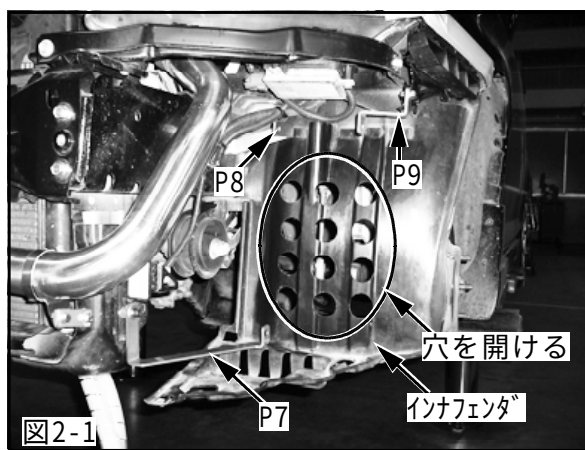
作業を始める前に、エンジンオイル、冷却水を準備しバッテリーのマイナス端子を取外してください。
必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行なってください。

- (1) アンダカバーを取外してください。
- (2) フロントバンパを取外してください。
- (3) エンジンオイルを抜取ってください。
- (4) オイルフィルタを取外してください。

2. ノーマルパーツ加工

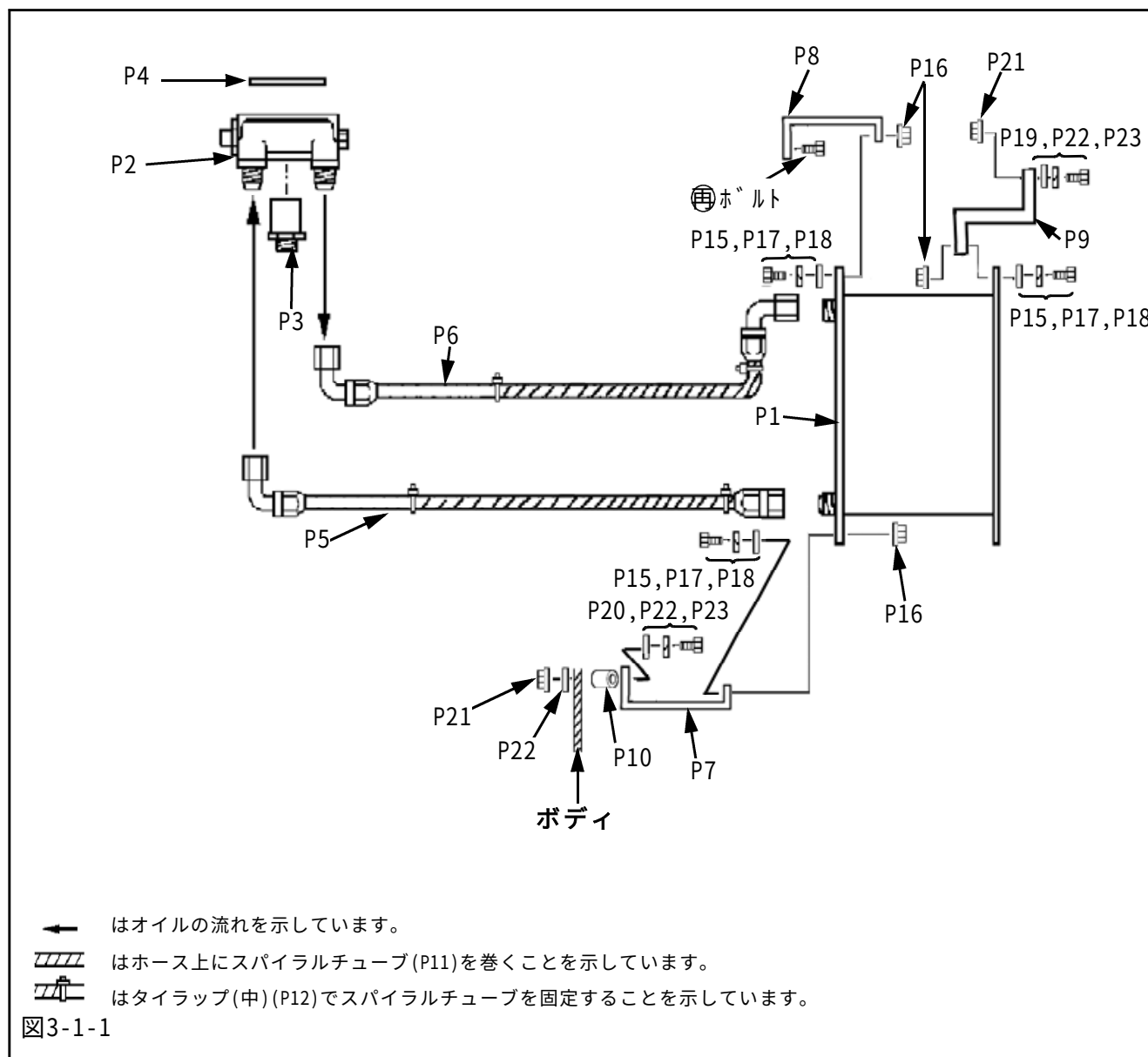
2-1. オイルクーラコアの仮付け

- (1) ステー№1をボディに仮付けしてください。
(図2-1, 図3-1-1)
 - ・ステー№1 (P7×1)
 - ・カラー (P10×1)
 - ・ボルトM6 L=55 (P20×1)
 - ・フランジ付きナットM6 (P21×1)
 - ・プレーンワッシャM6用 大径 (P22×2)
 - ・スプリングワッシャM6用 (P23×1)
- (2) ステー№2をボディに仮付けしてください。
(図2-1, 図3-1-1)
 - ・ステー№2 (P8×1)
 - ・ボルト (純正)
- (3) ステー№3をボディに仮付けしてください。
(図2-1, 図3-1-1)
 - ・ステー№3 (P9×1)
 - ・ボルトM6 L=15 (P19×1)
 - ・フランジ付きナットM6 (P21×1)
 - ・プレーンワッシャM6用 大径 (P22×1)
 - ・スプリングワッシャM6用 (P23×1)
- (4) オイルクーラコアを取付けてください。
(図2-2, 図3-1-1)
 - ・オイルクーラコア (P1×1)
 - ・ボルトM8 L=20 (P15×3)
 - ・フランジ付きナットM8 (P16×3)
 - ・スプリングワッシャM8用 (P17×3)
 - ・プレーンワッシャM8用 (P18×3)
- (5) オイルクーラコア後側のインナフェンダに穴を開けるためのマーキングをしてください。
- (6) 仮付けしたオイルクーラコアを取外し、インナフェンダのマーキングをした部分にφ25程度の穴を開けてください。(図2-1)



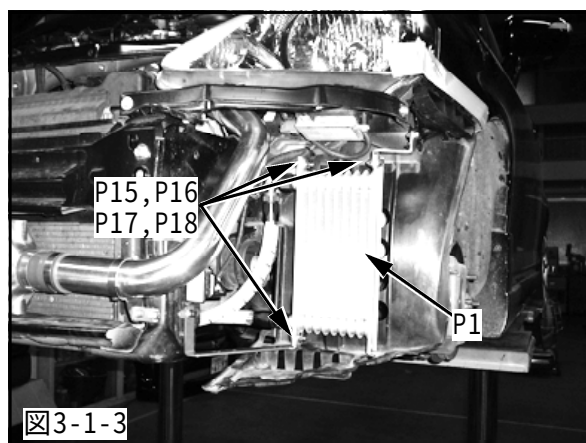
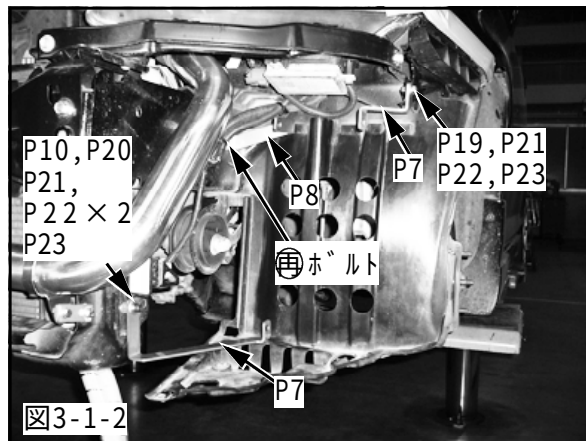
3. キットパーツ取付け

※キット内パーツ(オイルクーラコア, アタッチメントボルトB, オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2, アダプタサーモAssy)のシール面, ネジ部, テーパー部にキズや異物の混入がないことを確認してください。



3-1. オイルクーラコアの取付け

- (1) ステーパー№1をボディに取付けてください。(図3-1-2)
 - ・ステーパー№1 (P7) (2-1.(1)で仮付けしたもの)
 - ・カラー (P10) (2-1.(1)で仮付けしたもの)
 - ・ボルトM6 L=55 (P20) (2-1.(1)で仮付けしたもの)
 - ・フランジ付きナットM6 (P21)
 - (2-1.(1)で仮付けしたもの)
 - ・プレーンワッシャM6用 大径 (P22)
 - (2-1.(1)で仮付けしたもの)
 - ・スプリングワッシャM6用 (P23)
 - (2-1.(1)で仮付けしたもの)
- (2) ステーパー№2をボディに取付けてください。(図3-1-2)
 - ・ステーパー№2 (P8) (2-1.(2)で仮付けしたもの)
 - ・ボルト (純正) (2-1.(2)で仮付けしたもの)
- (3) ステーパー№3をボディに取付けてください。(図3-1-2)
 - ・ステーパー№3 (P9) (2-1.(3)で仮付けしたもの)
 - ・ボルトM6 L=15 (P19) (2-1.(3)で仮付けしたもの)
 - ・フランジ付きナットM6 (P21) (2-1.(3)で仮付けしたもの)
 - ・プレーンワッシャM6用 大径 (P22) (2-1.(3)で仮付けしたもの)
 - ・スプリングワッシャM6用 (P23) (2-1.(3)で仮付けしたもの)
- (4) オイルクーラコアを取付けてください。
 (図3-1-1,図3-1-3)
 - ・オイルクーラコア (P1×1)
 - ・ボルトM8 L=20 (P15×3)
 - ・フランジ付きナットM8 (P16×3)
 - ・スプリングワッシャM8用 (P17×3)
 - ・プレーンワッシャM8用 (P18×3)



3-2. アダプタサーモAssyの取付け

- (1) アダプタサーモAssyをエンジンに取付けてください。
 (図3-2-1)
 - ・アダプタサーモAssy (P2×1)
 - ・アタッチメントボルト (P3×1)

締付けトルク N・m(kgf・m)
 $T=14.7 \sim 17.6$ (1.5~1.8)

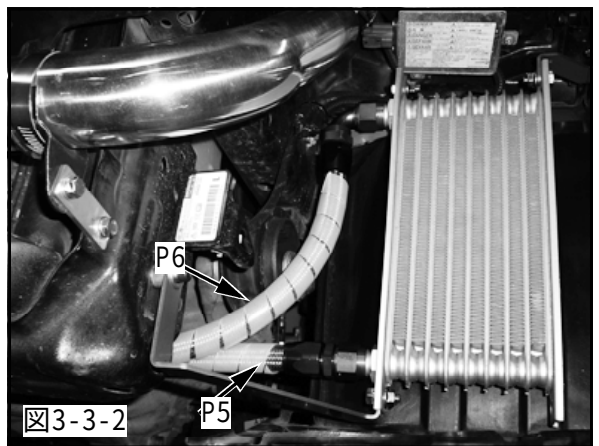
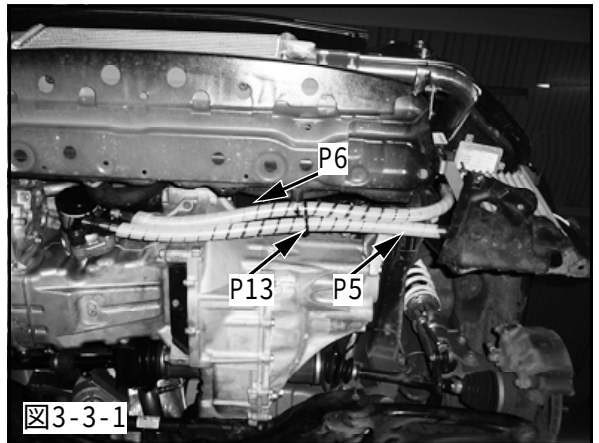
- (2) オイルフィルタを取付けてください。
 (図3-2-1)
 - ・オイルフィルタ (P14×1)

締付けトルク N・m(kgf・m)
 $T=14.7 \sim 17.6$ (1.5~1.8)



3-3. オイルクーラホースの取付け

- (1) オイルクーラホース№1, №2にスパイラルチューブを適切な長さに切断して、巻付けタイラップ(中)で固定してください。
 - ・オイルクーラホース№1 (P5×1)
 - ・オイルクーラホース№2 (P6×1)
 - ・スパイラルチューブ (P11×1)
 - ・タイラップ (中) (P12)
- (2) オイルクーラホース№1, №2を取付けてください。(図3-3-1, 図3-3-2)
 - ・オイルクーラホース№1 (P5)
(3-3. (1)でスパイラルチューブを巻付けたもの)
 - ・オイルクーラホース№2 (P6)
(3-3. (1)でスパイラルチューブを巻付けたもの)
- (3) オイルクーラホース№1, №2をラジエータファンシュラウドに固定してください。(図3-3-1)
 - ・タイラップ(大) (P13)



⚠ 注 意

- ホース接続方向に間違いがないか確認してください。(図3-1-1)
IN/OUTの配管ミスは、エレメントの破損・エンジンの焼付き等の事故になります。
- オイルクーラホースのフィッティングにシールテープを使用しないでください。
テープがエンジン内部に混入し、エンジンが破損する恐れがあります。

4. ノーマルパーツ取付け

- (1) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。
- (2) エンジンオイルを入れてください。
アドバイス
 - ・ H K S 製エンジンオイルのご使用をお薦めいたします。
- (3) エンジンを始動し、以下の確認を行なってください。
 - ・ エンジンを3分以上暖気(油温75℃以上)にし、オイル漏れがないか確認してください。
 - ・ エンジン暖気後、エンジンオイルが規定量入っているかオイルレベルゲージを確認してください。
- (4) フロントバンパを取付けてください。
- (5) アンダカバーを取付けてください。

※取付け作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行なってください。

5. 取付後の確認

エンジン始動前の確認

確 認 項 目	確 認
パイプ・ホースなどの配管がまちがっていないか。	
ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
エンジンオイルがレベルゲージのH（F）～Lの間にあるか。	
ボルト・ナット類の締め忘れがないか。	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか。	
オイルクーラコアがしっかり固定されているか。	
オイルクーラコアやホースからオイルもれがないか。	

エンジン始動後の確認

始動直後は回転を上げないようにしてください。（アイドリング運転）

確 認 項 目	確 認
オイルもれがないか。	
軽く空拭かしを2、3度行ないオイルがもれていないか。	
部品による干渉音がないか。	
油圧が上昇し、オイルクーラにオイルが回っているか。	
エンジンを停止して、ネジ等がゆるんでいないか。（再度取付け部品の締付け確認）	
エンジンオイルがレベルゲージのH（F）～Lの間にあるか。	

- エンジンオイルの温度が80℃以上になるとサーモスタットが作動し、コアへ流れるオイルの量が増加します。オイルクーラコアとホース内にオイルを充分循環させた後にエンジンを停止し、オイルレベルゲージを再度確認してください。
オイルレベルが下がっている場合は規定量までオイルを補充してください。